



# MacBook Pro 15" Unibody Late 2008/Early 2009 ディスプレイアセンブリの交換

このガイドを使ってMacBook Pro Unibodyの壊れたディスプレイを交換します。

作成者: Walter Galan



## はじめに

このガイドを使ってMacBook Pro Unibodyの壊れたディスプレイを交換します。

### ツール:

- [プラススクロッドライバー\(#00\)](#) (1)
- [スパッジャー](#) (1)
- [T6トルクススクロッドライバー](#) (1)

### 部品:

- [MacBook Pro 15" Unibody \(Late 2008/Early 2009\) Display Assembly](#) (1)

## 手順 1 — アクセスドア



- ケースを閉じた状態で、平らな作業台の上にUnibodyの上部を下側に向けて配置します。
- アクセスドアの取り外しラッチの溝のある側を押して、飛び出した側の先端を掴んでください。取り出しラッチを垂直になるまで持ち上げます。

## 手順 2



- アクセスドアがUnibodyから十分の高さまで持ち上がるはずです。

### 手順 3 — バッテリー



- ① 次の手順に進む前に、アクセスドアの取り外しラッチが垂直になっているか確認してください。
- 半透明のプラスチックタブを掴んで、バッテリーをUnibodyから引き上げます。
- ラッチが押されると、バッテリーが所定の位置にロックされます。

### 手順 4 — 下部ケース



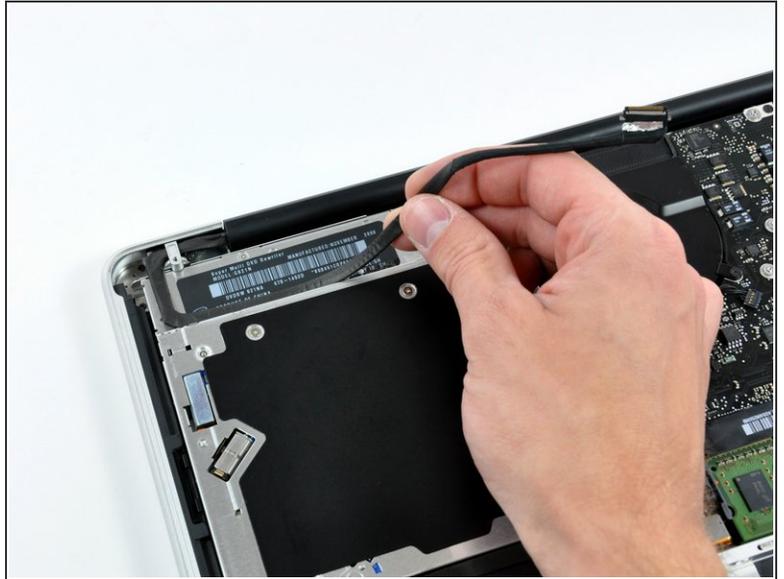
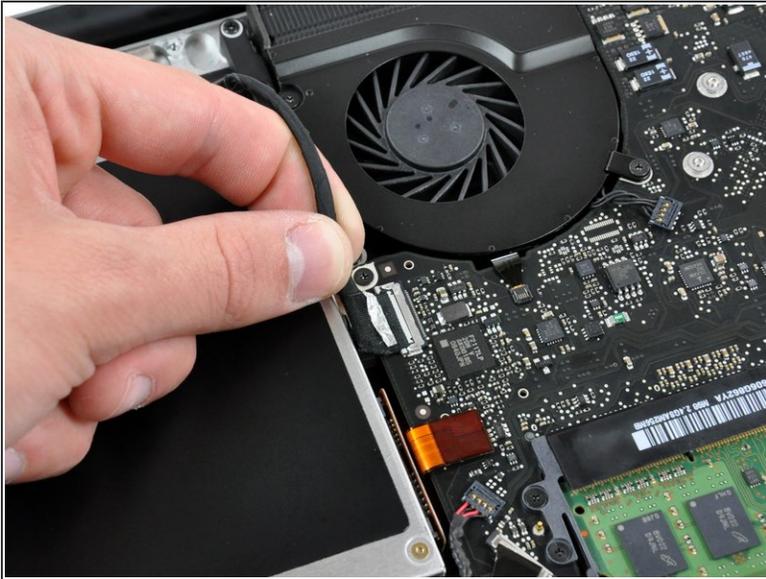
- 下部ケースにカシス(筐体)を固定している次の8本のネジを外します。
  - 5.4 mm プラスネジ 1本
  - 14 mm プラスネジ 3本
  - 3.5 mm プラスネジ 4本

## 手順 5



- 両手を使って、上部ケースから下部ケースを持ち上げて取り出します。

## 手順 6 — ディスプレイアセンブリ



ⓘ 必要に応じて、EMIガasketをカメラケーブルコネクタから剥がします。

- ケーブルのオス型先端をまっすぐソケットから光学ドライブの開口部分に向けて引っ張り、接続を外します。

⚠ このコネクタを基板からまっすぐ上に引っ張り上げないでください。コネクタを基板の表面と並行に引っ張ります。

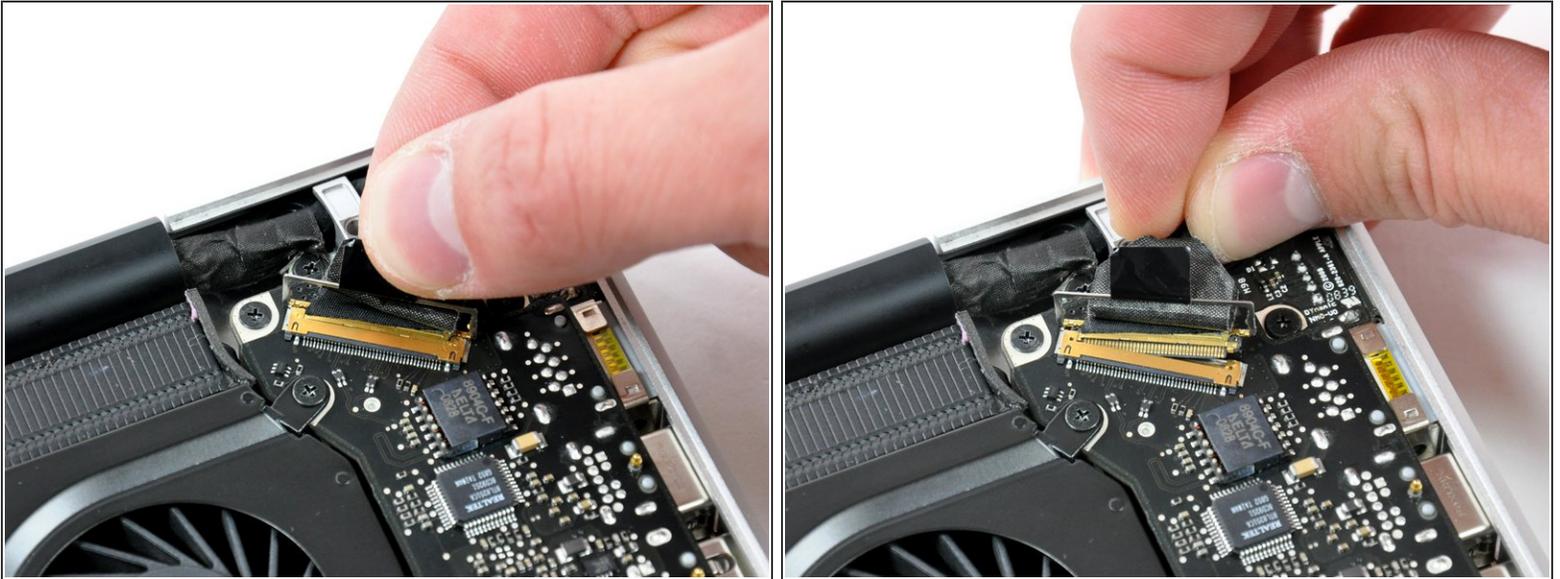
- カメラデータケーブルを光学ドライブのチャンネルから巻き戻します。

## 手順 7



- カメラケーブルのブラケットと上部ケースを固定している2本のプラスネジを外します。
- ⓘ 一番左のネジはカメラケーブルの中に付いたままです。
- カメラケーブルのブラケットをカメラケーブルから外して、デバイスから取り出します。

## 手順 8



- LVDSケーブルロックに固定されたプラスチックのプルタブを掴んで、コンピューターのDC-inサイドに向けて回転させます。
  - LVDSコネクタをソケットからまっすぐ引き抜きます。
- i** LCDSケーブルの接続を外す際には、LVDSケーブルロックに固定された黒色のタブを引っ張らないでください。コネクタをソケットからゆっくりと引き伸ばしながらケーブルを揺らすとうまくいきます。



## 手順 11



- MacBook Proを開口します。そしてディスプレイを垂直に立てます。
- 画像のようにMacBook Proをテーブル上に配置します。
- ディスプレイと上部ケースを片手で両方を掴み、下部ディスプレイブラケットから6 mmトルクスネジを外します。

## 手順 12



**⚠** ディスプレイと上部ケースを同時に片手で固定してください。固定していなければ、ディスプレイ/上部ケースが倒れてしまい、各コンポーネントにダメージを与えてしまいます。

- 上部ケースにディスプレイを固定している最後の6 mmトルクスネジを外します。

## 手順 13



- 右手で上部ケースを掴んで、ディスプレイの上部に向けて若干ずらします。すると上部ディスプレイブラケットが上部ケースの端から外れます。
- ディスプレイを上部ケースから少しずらします。
- ディスプレイを上部ケースから持ち上げて外します。ケーブルやブラケットが絡まないようにご注意ください。

デバイスを再組み立てする際は、これらのインストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。